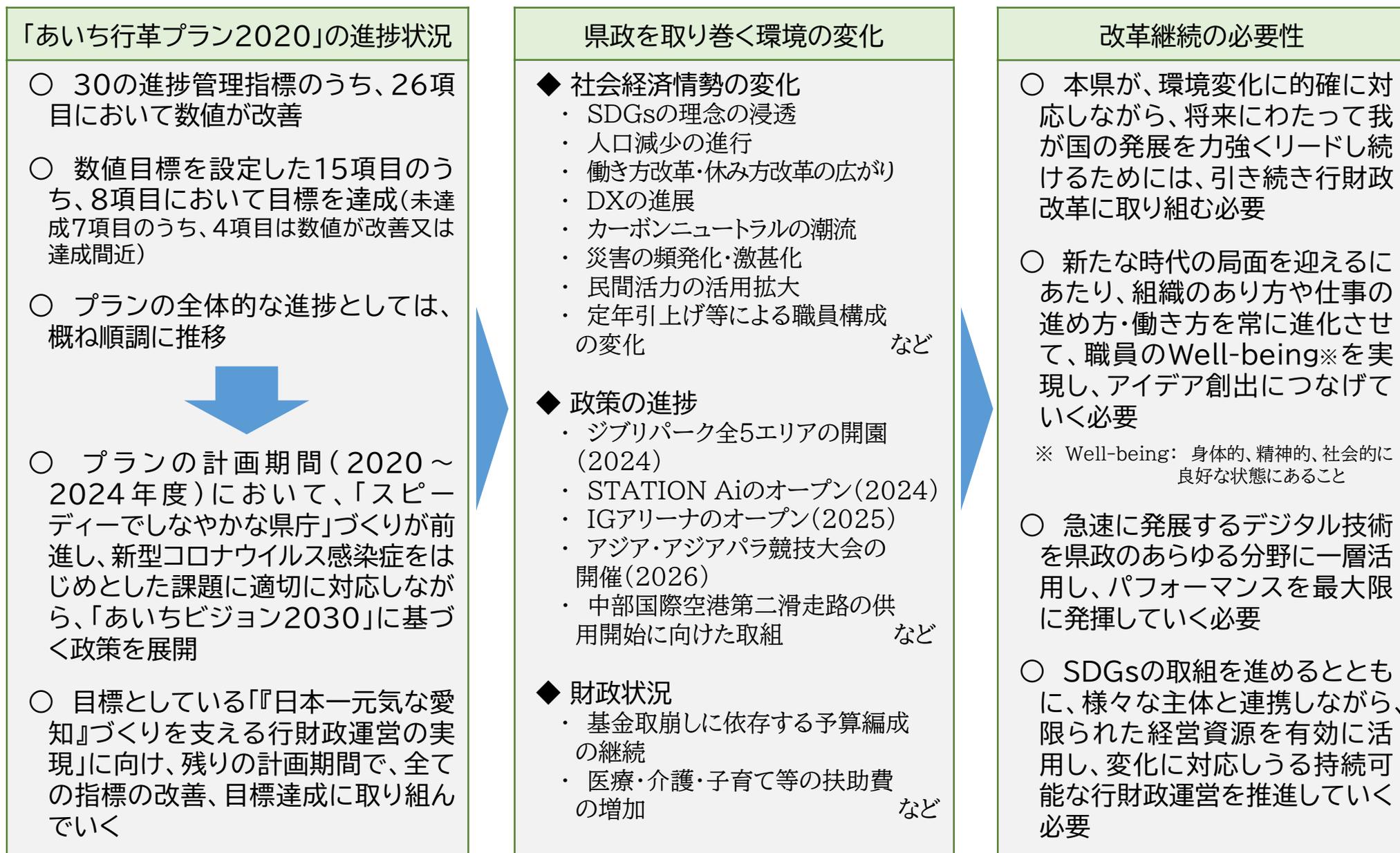


次期行革大綱の骨格イメージ(案)

1 策定の背景・改革継続の必要性



次期行革大綱の骨格イメージ(案)

2 次期行革大綱の概要

名称 (仮称)愛知県第八次行革大綱 ※呼称、副題(キャッチフレーズ)は今後検討
策定趣旨 県の行財政改革の中期的な目標、考え方を示すとともに、具体的な取組計画を定める。
計画期間 5年間(2025～2029年度)

改革の視点

① 職員・組織のアップグレード

環境変化に的確に対応するため、時代に先駆けて職員や組織のマインドセット※を変革し、県民ニーズを的確に把握した上で仕事の進め方・働き方を見直して、Well-beingを実現し、新しいアイデアを創出できるようアップグレード

※ マインドセット: 自身の習性として根付いた物の見方や考え方、組織文化

② DXの更なる推進

新たなデジタル技術を積極的に活用し、県の業務やサービスを変革することで、より効率的・効果的に実施し、県行政の質を向上

③ 持続可能な行財政運営

SDGsの取組を進めるとともに、様々な主体と連携しながら、限られた経営資源を変化に合わせて真に必要な分野に集中していくことで、県民の生活を守り続けられる県庁づくりを推進

改革の目標(目指すべき県行政の姿)

「あいちビジョン2030」の実現を支え、SDGsの達成に貢献する行財政体制の確立

「あいちビジョン2030」が基本目標に掲げる「暮らし・経済・環境が調和した輝くあいち」の実現に向けて愛知が一丸となって取り組む政策展開を支え、SDGsの達成に貢献する行財政体制の確立を目指す。

改革の目標

3つの改革の視点

主要取組事項(9本の柱)

- 1 DX・業務効率化・行政サービスの向上
- 2 組織のパフォーマンスの向上
- 3 職員が力を発揮できる環境づくりの推進
- 4 カーボンニュートラルにも貢献する県有資産の活用
- 5 人口減少社会を見据えた自治体間連携と地方分権の推進
- 6 企業・大学等との連携・協働の推進
- 7 民間活力の更なる活用
- 8 公営企業や第三セクター等の健全な経営の推進
- 9 健全で持続可能な財政基盤の確立

個別取組事項、進捗管理指標(数値目標)